



校内PTA人権教育講演会を行いました。

11月21日（金）行った校内PTA人権教育講演会では、岡山・倉敷を中心に性教育アドバイザーとしてご活躍されている、デイジーライフ代表の鳥越千裕さんを講師としてお招きいたしました。演題は「正しい知識は自分を守る～未来に繋がる自分のカラダ」で、自分を大切にすること、相手を大切にすることの大切さを、具体例をあげながら熱心にお話しいただきました。参加した1・2年生の真剣に講演を聴く姿勢や、質問への反応のよさに感激されました。ご参加いただいた保護者の皆様ありがとうございました。



第2回学校運営協議会の続報！

11月19日（水）、学校運営協議会熟議で行った熟議の続きをご紹介します。

【熟議Ⅱ】「あいさつがあふれる玉島西中学校にするには」

1. まずは「自分から」実践する（個人の意識と行動）

- ・積極的な行動：自分から先に、積極的、かつ大きな声であいさつをすることを心がける。恥ずかしがらずに、気づいた人からあいさつを始める。
- ・習慣化の意識：あいさつを「当たり前」の習慣にする。いつでも、どこでも、だれとでもあいさつができるように意識する。
- ・感謝の心：感謝や敬う気持ちを養い、声を出すだけでなく、気持ちのこもったあいさつをする。「ありがとう」を口癖にする。

2. あいさつの「輪」を広げる（周囲との関わり）

- ・確実な応答：あいさつをしてくれたら、必ずあいさつや笑顔を返す。皆で実行すれば恥ずかしくないという意識を持つ。
- ・家庭での実践：まずは家庭内（おはよう、ただいま、おやすみ等）で自然にあいさつができるようにする。家庭での実践・友達との実践で気軽に声を出せるようにする。
- ・周囲への配慮：年上・年下関係なくあいさつをする。地域の人との交流も増やし、地域でも家庭でもあいさつができる環境づくりを目指す。

3. 学校全体で「仕組み」を作る（生徒会・教員・授業）

- ・生徒会・委員会の取り組み強化：生徒会以外も巻き込む、クラスごとに実施する、運動の人数や回数を増やすなど、あいさつ運動の仕方を工夫する。執行部の活動場所の変更も検討する。
- ・教員の模範行動：教員が素敵なお手本となるあいさつをするなど、背中を見せて手本となる。授業でのあいさつを丁寧に行う。
- ・意欲向上の工夫：学級対抗あいさつ大会を実施し、個人賞などを発表する。あいさつを促すための掲示も活用する。

4. あいさつの「意味」を理解する（教育的視点）

- ・本質的な理解：あいさつがなぜ大切なのか、どのような意味があるのかを考え、理解する機会（帰りの会、授業など）を設ける。あいさつの良さ、大切さを伝える。
- ・実践的な学び：あいさつの練習をする。カウンターを持って1日何回あいさつしたかカウントするなど、ゲーム感覚で意欲を高める。

人権ポスター・標語展開催中

11月22日（土）～12月10日（水）まで、玉島西公民館で14名の人権ポスターと12名の標語が展示されています。

時間があれば、見に行ってみてください。

